

施策評価調書（主要施策別）

様式1

基本目標	「強靱」な水道の構築	整理番号	1－(3)
主要施策	危機管理体制の充実	施策主務課	計画課
施策の趣旨	県営水道では地震や事故等に強い水道施設の整備を進めているところですが、災害、テロ等違法行為などによって発生する様々な状況にも十分対応できるよう危機管理体制の充実に努めていかななくてはなりません。 そのため、実践的で速効性のある応急体制や、各浄・給水場等の危機管理対策を更に充実・強化するとともに、給水区域内11市や近隣の水道用水供給事業者との連携強化を図ります。		

I 施策を達成するための主な取組と達成状況

取組 ①	緊急時に備えた体制の充実	担当課	計画課 給水課																			
	(取組の概要) 地震等の自然災害及び事故の発生時等における応急活動の充実に図るため、千葉県水道管工事協同組合や関係団体と連携して行う震災対策総合訓練、各所属で行うテーマ型訓練や、「災害時支援協力員制度」を活用した訓練等、より実践的な訓練を行い、職員が非常事態に確実に行動できる体制の充実に図るとともに、備蓄倉庫や応急用資機材等の増強に取り組みます。																					
	(30年度取組計画の概要) 地震及び事故の発生時等における応急活動の充実に図るため、以下の実践的な訓練を行い、職員及び関係機関等が非常事態に確実に行動できる体制の充実に図ります。なお、平成30年度は新たに、南海トラフ巨大地震等の発生を想定した日本水道協会全国地震等緊急時訓練に参加し、関東近隣以外の水道事業者とも連携し、発生時の応援体制の検証及び実効性の強化を図ります。 非常用飲料水袋等について、必要な備蓄の維持に努めるとともに、備蓄倉庫の建設に取り組みます。																					
	実施訓練 ・水道局震災対策総合訓練（仮称） ・九都県市合同訓練（県会場、市会場） ・日本水道協会全国地震等緊急時訓練（静岡県） ・千葉県防災図上訓練 ・千葉県新型インフルエンザ対策本部会議運営訓練 ・各所属が行うテーマ型訓練 ・支援協力員訓練																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">H30年度最終予算額（千円）</th> <th colspan="3">H30年度決算額等（千円）</th> </tr> <tr> <th>現年度</th> <th>H29→H30繰越</th> <th>計</th> <th>決算額</th> <th>H30→R1繰越</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210,451</td> <td>0</td> <td>210,451</td> <td>193,011</td> <td>0</td> <td>193,011</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度最終予算額（千円）			H30年度決算額等（千円）			現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計	210,451	0	210,451	193,011	0	193,011		
	H30年度最終予算額（千円）			H30年度決算額等（千円）																		
	現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計																
	210,451	0	210,451	193,011	0	193,011																
	達成指標	1) 訓練の実施回数 2) 備蓄倉庫の建設及び復旧用資材の備蓄状況		内部評価																		
	達成目標	1) 総合訓練 7回 テーマ型訓練 104回 支援協力員訓練 1回 2) 柏井備蓄倉庫の建設完了		a : 達成している b : 概ね達成している c : 未達成だが進展している d : 進展していない																		
達成実績	1) 総合訓練 7回 テーマ型訓練 120回 支援協力員訓練 1回 2) 柏井備蓄倉庫の建設完了		前年度評価 a																			

<p>(取組の進捗状況)</p> <p>1) 総合訓練については、九都県市合同防災訓練など、合計7回の訓練を行いました。なお、平成30年度は、首都直下地震対処大都市水道合同防災訓練において、ちば野菊の里浄水場等が会場となり、計22事業体から人員や給水車等の応援を得て訓練を実施し、神戸市水道局(平成31年1月に災害時相互救援活動に関する覚書を締結)を含む関係団体との連携強化を図ることができました。</p> <p>各所属が取り組むテーマ型訓練については、給水車や仮設給水栓を活用した応急給水訓練、情報伝達訓練等、震災や水道施設事故を想定した訓練を120回実施し、作業手順等の習熟度を向上させました。</p> <p>災害時支援協力員の訓練については、給水拠点に設置している応急給水設備や仮設給水栓等を活用した実践的な訓練を実施し、支援協力体制の強化に努めました。</p> <p>2) 平成31年3月に柏井備蓄倉庫の建設が完了しました。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>訓練の実施回数と備蓄倉庫の建設について目標を達成したため、「a: 達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>引き続き、実践的な訓練の実施や応急用資機材の備蓄強化など、緊急時に備えた体制の充実に努めます。また、令和元年度は、完成した柏井備蓄倉庫に備蓄材料の搬入を順次進めます。</p>

給水区域内11市等関係団体との連携強化		担当課	計画課																		
<p>(取組の概要)</p> <p>地震等の非常時において、災害対策基本法や地域防災計画等に基づいて給水区域内11市とともに、病院等の重要施設や住民に対する応急給水活動を迅速かつ適切に行っていくため、協議や意見交換等の場を通じて相互の役割分担等について確認を行い、連携の強化を図っていきます。</p> <p>また、これまで浄・給水場間のバックアップ体制については、一定の確保を図ってきたところですが、更なるレベルアップに向け、北千葉広域水道企業団が設置する調整池を活用した水融通体制を確保します。</p> <p>(30年度取組計画の概要)</p> <p>応急給水活動への対応を確実なものとするため、各市との連絡調整会議を開催し応急給水に係る役割分担の再確認や、応急給水の広報の充実等について検討するとともに、各市との合同訓練を実施することにより連携強化を図ります。</p>																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">H30年度最終予算額(千円)</th> <th colspan="3">H30年度決算額等(千円)</th> </tr> <tr> <th>現年度</th> <th>H29→H30繰越</th> <th>計</th> <th>決算額</th> <th>H30→R1繰越</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度最終予算額(千円)			H30年度決算額等(千円)			現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計	0	0	0	0	0	0
H30年度最終予算額(千円)			H30年度決算額等(千円)																		
現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計																
0	0	0	0	0	0																
取組②	達成指標	合同訓練の実施回数		内部評価																	
	達成目標	11回		a: 達成している b: 概ね達成している c: 未達成だが進展している d: 進展していない																	
	達成実績	11回		前年度評価																	
				b																	
<p>(取組の進捗状況)</p> <p>・給水区域内11市と応急給水等連絡調整会議を開催し、応急給水時の広報や役割分担の再確認を行いました。各市との合同訓練への参加については、天候不良により中止となった訓練を除き、全ての訓練(計11回)に参加し、応急給水活動の更なる連携強化を図りました。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>合同訓練を11回実施し、目標を達成していることから、「a: 達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>引き続き給水区域内11市と応急給水等連絡調整会議を開催し、更なる連携強化を図っていきます。</p>																					

浄水施設の危機管理対策の強化		担当課	浄水課																								
<p>(取組の概要)</p> <p>近年、世界各地でテロが頻発している状況や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控える中で、懸念されるテロ等違法行為による異物混入等のリスクに備えるため、浄水施設におけるより一層の危機管理対策の強化を図ります。</p>																											
<p>(30年度取組計画の概要)</p> <p>浄水場の覆蓋化について、柏井浄水場西側施設で平成29年度から実施している設置工事を継続するほか、北総浄水場及びちば野菊の里浄水場においても、設置工事に着手します。</p> <p>また、浄・給水場の監視体制の強化として導入する機械警備は、29年度に導入が完了したため、今後は継続して運用します。</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">H30年度最終予算額(千円)</th> <th colspan="3">H30年度決算額等(千円)</th> </tr> <tr> <th>現年度</th> <th>H29→H30繰越</th> <th>計</th> <th>決算額</th> <th>H30→R1繰越</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>694,174</td> <td>35,964</td> <td>730,138</td> <td>107,481</td> <td>622,657</td> <td>730,138</td> </tr> <tr> <td>(再掲分 628,317)</td> <td>(再掲分 35,964)</td> <td>(再掲分 664,281)</td> <td>(再掲分 41,624)</td> <td>(再掲分 622,657)</td> <td>(再掲分 664,281)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(上記の金額のうち、覆蓋設置事業分については、1-(1)-③「浄・給水場設備の更新・整備」で計上している金額から抽出・再掲載したものです。)</p>				H30年度最終予算額(千円)			H30年度決算額等(千円)			現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計	694,174	35,964	730,138	107,481	622,657	730,138	(再掲分 628,317)	(再掲分 35,964)	(再掲分 664,281)	(再掲分 41,624)	(再掲分 622,657)	(再掲分 664,281)
H30年度最終予算額(千円)			H30年度決算額等(千円)																								
現年度	H29→H30繰越	計	決算額	H30→R1繰越	計																						
694,174	35,964	730,138	107,481	622,657	730,138																						
(再掲分 628,317)	(再掲分 35,964)	(再掲分 664,281)	(再掲分 41,624)	(再掲分 622,657)	(再掲分 664,281)																						
取組③	達成指標	浄水場における覆蓋設置状況		内部評価																							
	達成目標	1) 工事の継続 柏井浄水場西側施設 2) 工事の着手 北総浄水場 ちば野菊の里浄水場		a : 達成している b : 概ね達成している c : 未達成だが進展している d : 進展していない																							
	達成実績	1) 柏井浄水場西側施設に係る工事継続 2) 北総浄水場、ちば野菊の里浄水場に係る工事着手		前年度評価	b																						
<p>(取組の進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏井浄水場西側施設は計画通り進捗しており、令和2年7月の完成を目指します。 北総浄水場及びちば野菊の里浄水場は、平成30年度に工事着手しており、令和2年3月の完成を目指します。 <p>また、監視体制の強化を維持するため、各浄・給水場において機械警備を継続運用しています。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>北総浄水場及びちば野菊の里浄水場の詳細設計に工期延期がありましたが、当初の予定通り平成30年度に工事着手しました。また、柏井浄水場西側施設についても、計画通り進捗していることから、取組全体としては「a: 達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>柏井浄水場西側、北総浄水場、ちば野菊里浄水場の覆蓋設置については、工期内完成を目指し工事を継続してまいります。</p> <p>また、浄・給水場の監視体制の強化として導入した機械警備については、今後も継続して運用します。</p> <p><上記以外の項目について></p> <p>福増浄水場において、着水井の覆蓋が未設置となっていることから、平成30年度に実施設計に着手し完了しました。令和元年度は、その設置工事に着手し、年度内の完了を目指します。</p> <p>なお、オリンピック・パラリンピック競技の開催近隣地域である幕張給水場及び水質センターにおいては、施設内の機械警備に加え施設外周の機械警備も令和元年度中に導入し、更に強化を図ります。</p>																											

II 施策の成果

成果指標	非常時職員参集管理システム応答率（1時間以内）	内部評価	
成果目標	98%以上	a：成果が出ている b：概ね成果が出ている c：成果が小さい d：成果が出ていない	
成果実績	98.5%	前年度評価	b
<p>(施策の進捗状況)</p> <p>非常時職員参集管理システムを活用した応答率は、5月に実施した1回目の訓練では96.9%でしたが、応答方法の説明を個別に行うなど、職員の意識とシステムの習熟度向上に努めた結果、11月に実施した2回目の訓練では98.5%となり、目標の98%を上回りました。</p> <p>また、実践的な訓練や備蓄倉庫の増強、給水区域内11市等関係団体との連携強化のための取組を計画的に実施することで、応急体制の強化を図りました。</p> <p>さらに、浄水施設においては覆盖設置工事の継続と着手及び機械警備の運用により、危機管理対策の強化を推進しました。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>施策の成果指標については目標を達成するとともに、施策達成のための主な取組についても、評価が「a」であったことから、施策全体として「a：成果が出ている」と評価しました。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>職員参集管理システムを活用した訓練については、新規職員やシステムに不慣れな職員に対する事前周知を徹底し、今後も高い応答率を維持していきます。</p> <p>また、職員個人及び組織として危機管理意識を高め、災害、テロ等違法行為などによって発生する様々な状況にも十分対応できるよう、訓練の実施等による応急体制の確立や、浄・給水場等の危機管理対策の推進、関係団体との連携強化などについても計画的に取り組み、引き続き危機管理体制の充実に努めていきます。</p>			

内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし